

2019年12月11日
東京工芸大学

東京工芸大学が共催する「NPO 法人映画甲子園主催 高校生のための eiga worldcup 2019」(主催：特定非営利活動法人映画甲子園、共催：東京工芸大学)の最終審査結果発表及び表彰式が本学中野キャンパスで開催されました

2019年12月7日(土)に、東京工芸大学(学長:義江龍一郎、所在地:東京都中野区、以下、本学)中野キャンパスで、本学が共催するイベント「NPO法人映画甲子園主催 高校生のためのeiga worldcup※2019(以下、本イベント)」の最終審査結果発表及び表彰式が開催されました。

本学が本イベントに共催した目的は、高校生の自主制作映画の全国コンペティションである本イベントを通じて、教育的観点から映画界の人材育成を行うことです。

教育奨励賞では、本学芸術学部映像学科の山川教授が審査員をつとめました。教育奨励賞とは、大学で専門的に映画教育を行っている先生によって、映像教育的観点から特に優れた作品を一作品選出し、授与されるものです。この賞の対象となるのは、自由部門の入選作品です。

山川教授からは、「高校生の制作した映画から予想以上に気持ちが伝わり、そのような作品と出会えてとても楽しい体験ができた。」とコメントを述べられました。

今後も本学では、高等教育機関として大学の持つ知的財産を活用し、社会に貢献できるよう取り組んでまいります。

※「NPO 法人映画甲子園主催 高校生のための eiga worldcup」とは

特定非営利活動法人映画甲子園による、国内最大規模の高校生の自主制作映画コンペティション。審査員は、日本アカデミー賞受賞などの力のある映画監督や脚本家、美術監督、編集ディレクター、テレビ局エグゼクティブプロデューサー、映画音楽の作曲家など総勢20名以上です。すべての応募作品について、審査のコメントやアドバイスメールをして個別指導を行います。さらに、表彰式終了後には、入選作品に対しても第二次審査員全員からのアドバイスメールを送付しています。

2018年には、教育的見地から新たに教育奨励賞を設けられました。

■「NPO法人映画甲子園主催高校生のためのeiga worldcup 2019」

主催：特定非営利活動法人映画甲子園

共催：東京工芸大学

【最終審査結果発表及び表彰式】

開催日時：2019年12月7日(土)

開催場所：東京工芸大学・中野キャンパスメインホール(東京都中野区本町2-9-5)

本リリースに関するお問い合わせ
学事部広報課：046-242-9600
university.pr@office.t-kougei.ac.jp